



すべての人が、幸せになる権利を持っています。  
人権について、身近なこと、小さなことから、始めませんか？

## レースアンバサダー

「アンバサダー」は日本語では、“大使”、“使節”という意味になります。つまり、企業や自治体などの組織から任命され、公式に広報、普及活動を行う人のことです。では、レースアンバサダーって誰のことでしょう。実は、レースクイーンのことなのです。2024年の4月に開幕した SUPER GT 第1戦の岡山のレースから、レースクイーンの名称がレースアンバサダーに変更されました。

SUPER GT を運営する GTA (GT アソシエーション) は2024年の3月15日に「レースクイーン」の呼称を「レースアンバサダー」に変更することを発表しました。その理由として、

- ①ファンや観客との交流を通じ、チームスポンサー企業のブランドや製品の認知度向上に寄与
- ②所属チームの応援団として当該チームの PR 活動や認知度拡大に貢献
- ③SUPER GT に参戦するエントラントの一員として、SUPER GT シリーズの認知度向上、ファン拡大に寄与という役割がよりわかりやすくなるようにするためだそうです。

新しく発表された内容では、性に偏りのある表現「クイーン」を含む「レースクイーン」の呼称を変更するものの、従来のレースクイーンの役割、存在意義を変更するものではないと、これまでの活動に敬意を示しています。その上で、「日本のモータースポーツ業界におけるひとつの文化として、むしろそれらを継続しつつ、各々の個性や才能を発揮しやすい環境づくりを目的とするもの」と規定しました。

背景には、2018年アメリカの巨大メディアグループ「リバティメディア」がF1グループの株式を大量に買い取り「女性に過度な露出をさせ、性的な対象としてビジネスに用いているグリッドガール(レースクイーン)は、我々の慣習に合致しておらず、現代の社会規範に共鳴しない」という声明を出して廃止したことが影響しています。性差別に関するマナーは欧米は当然のごとく、ユーラシア、アジアでも非常に厳しくみられる傾向が21世紀に入り、急激に強まっており、グリッドガールはその批判の先頭に立たされてきたこともあって2018年1月31日、フォーミュラ1は「現代の社会規範にそぐわない」として、2018年シーズンからの廃止を決めたのです。

そして、2024年4月に岡山国際サーキットで行われた SUPER GT の第1戦に初の男性の「レースアンバサダー」が登場しました。彼の名はパク・ミンジュンさん。身長が185cmで韓国はソウル出身のモデルです。チームのロゴがついたブルーのジャケットとホワイトのパンツをスラリと着こなし、「“ジュン”と呼んでください。ファンの皆さんを笑顔にできるようにしたいですし、カッコイイ姿をみせていきたいです。」と爽やかな笑顔を見せていました。

これまで女性しかいなかった世界での仕事は、ジュンさんにとっても挑戦となるでしょう。男性で、そして外国人として SUPER GT の世界に登場するジュンさんのチャレンジは、まさに多様性の時代の表現といえると思います。